



社会人のマナー、仕事の心構え実感

インターンシップ・学外実習 2面

新潟青陵大・新潟薬科大と連携 初のSKYスクールを開講 8面



〈紅翔祭〉10/7(土)・8(日) 7面

養老孟司氏 文化講演会

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuij.ac.jpまでお問い合わせください。次回テーマは「新春」

CONTENTS

3面

国際文化学科7人が海外実習
企業見学セミナー 就職活動の第一歩に
キャリア育成合宿
企業人に職業観、人生観学ぶ

4・5面

教員海外研修だより
9月卒業式
中国語スピーチコンテスト
平成30年度入試日程
(推薦・帰国生・外国人留学生・社会人)
教員の活動

6面

初の学生タウンミーティング
米山県知事と意見交換
県警少年サポーター・
防犯ボランティア
学生5人が協力

7面

紅翔祭 10/7・8 案内特集
ゲストイベント 進学相談会

8面

オープンキャンパス盛況
湧源



NUISホームページ
<https://www.nuij.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuij.face>



LINE@
@nuij-line3111
LINEの「友だち追加」から
「ID検索」で登録



Twitter
@nuij_nabbit

学外実習

インターンシップ

私は8月21日から25日までの5日間、北越銀行で学外実習に参加しました。参加の動機は、銀行の業務内容に興味があつたこと、新潟での就職を希望して、地域貢献や福祉活動などに力を入れている北越銀行に魅力を感じたためです。

銀行の主な業務は、預金や為替融資です。業務体験として初日に札勘（お札の勘定）やGT（通帳の作成方法）を経験しました。印象的だったのは、札勘で銀行員の方の手さばきがとても早く正確なことで大変驚きました。銀行員の方は

(株) 北越銀行



正確さスピードに驚き

情報システム学科 3年 本間 有祐

考える気持ちが強く伝わりました。2日目から5日目は、各部署の方々と業務内容のお話やグループワークをしました。グループワークは財務諸表を用いて、ある企業や会社に対して融資を行うかどうかの判断を班内で話し合い、考えをまとめて発表しました。また北越銀行をPRするために広告宣伝を用いてどのような手法で広めていくかをグループで企画し発表するなど、より有意義な業務体験もすることができました。最近の流行を取り入れたものや、実現化ができるような企画も生

まれて、学生同士はもちろん銀行員の方とも互いに貴重な体験をすることができます。現場体験では、支店に行ってお客様さまが店内にいる中を見学させてもらつたり、1億円分の札束を持たせてもらつたり、とても貴重な体験をさせていただきました。

今回の学外実習を通じて、いろいろ知識が足りないと実感し、社会人としてのマナーや仕事に対する心構えを実感できました。自分の価値観が大きく変わり、参加してよかったです。

協力企業・団体（50音順）

- （株）イタリア軒 ●イワツキ（株） ●（株）エフエムラジオ新潟 ●カナカン
- グローカルマーケティング（株） ●（株）広報しえん ●（株）コープビル（オ
- 佐渡市役所 ●（株）シアンス ●CEC新潟情報サービス（株） ●新日本海銀行
- （株）第一印刷所 ●（株）タカヨシ ●（株）ダッシュ ●燕市役所 ●長岡市役所
- （一社）新潟県経営者協会 ●新潟国際情報大学 ●（株）新潟日報サービス
- POLA THE BEAUTY ●（株）ホテルオークラ新潟 ●（株）ホテル清風苑
- （株）ホテル新潟（ANAクラウンプラザホテル新潟） ●（株）レオパレス21

社会人のマナー、仕事の心構え実感

将来、人と接する仕事を通して役立つていきたいと思い、ホテル業界の就職も視野に入れており参加しました。ホテルの客層は広く、さまざまの立場や国々の方が来られるので、働いている方がどんな気持ちや態度で、何をやりがいに働いているのかを知りたいと思いました。

ANAクラウンプラザホテル新潟



お客様第一の気遣い

国際文化学科 3年 小松 瑞歩

膳していたとき、私の不注意でお客様にかかるつてしまつたことです。外国の方で言葉が通じない怖さや被害を与えたショックでどうすればいいのかわからず、他のスタッフがおしほりと氷で迅速に対応してくれました。お客様が薄着で、熱いみそ汁がかかればやけどすることも思いつけなかつたので、とても勉強になりました。2人で配るときはお客様の意識が散るので、早くやること以上にお客さまへの配慮、気遣いを優先することを教わりました。

通のレストランとは違います。テル内での連携した仕事から、それぞれが孤立せず協力して作業をするスタイルは自分に合っていると感じました。また、経験するにつれて次に何をしなければならないかを考え自分で行動できるようになつたのは成長できた部分だと思います。ミスをしたときには、冷静に対処してお客様を目指線で行動することが課題だと思いました。

- (株)イタリア軒 ●イワツキ(株)
 - (株)エフエムラジオ新潟 ●カナカン(株)
 - (株)川内自動車
 - グローカルマーケティング(株)
 - (株)広報しえん
 - (株)コープビル(ホテルニューオータニ長岡)
 - 済生会新潟第二病院
 - 佐渡市役所
 - (株)シアンス
 - CEC新潟情報サービス(株)
 - 新日本海サービス(株)
 - (株)星光堂薬局
 - セコム上信電気
 - (株)第一印刷所
 - (株)タカヨシ
 - (株)ダッシュ
 - 燕市役所
 - 長岡市役所
 - (株)新潟グランドホテル
 - (一社)新潟県経営者協会
 - 新潟国際情報大学
 - (株)新潟日報サービスネット
 - (株)新潟三越伊勢丹
 - 藤田金属(株)
 - POLA THE BEAUTY
 - (株)ホテルオークラ新潟
 - (株)ホテル清風苑
 - (株)ホテル朱鷺メッセ(株)
 - (株)ホテル日航新潟
 - (株)ホテル新潟(ANAクラウンプラザホテル新潟)
 - (株)リオパリズ21

協力企業・団体(50音順)

- アクシアルリテイリング(株)
 - 課題解決型 合同インターンシップ
 - (株)第四銀行 ●新潟商工会議所
 - (株)新潟日報社 ●(株)新潟放送
 - (株)博進堂 ●(株)北越銀行

国際文化学科 7人が海外実習

海外の国々で語学研修やボランティア活動など体験を積もうと、8月から9月にかけて国際文化学科の7人がニュージーランド、韓国、アメリカ合衆国、ロシア、ベトナム、台湾の6カ国で海外実習を行いました。ベトナムスタディーツアーに参加した3年生、中野伊吹さんに報告してもらいます。

子供たちの自立を目指す

NVVベトナムツアーパートナー 中野さん報告

新潟県内NPO団体、NV
C（新潟国際ボランティア
センター）が行うペトナム
スタディーツアーに参加し



できました。NVCは新潟とベトナムが交流しながら互いに成長してゆくことを目標の一つに掲げています。私は国際協力という分野に興味があり、NVCのセミナーにも参加し、今年5月からNVCでインターンスタッフとして働かせていただきました。今後の新潟での活動のためにも、ベトナムでNVCが支援する施設や人々と実際に会い交流したいと思ってツアーパークに参加しました。

現地での活動は、NVCが支援しているベトナム人奨学生や小学校、孤児院、障害児施設などの訪問、交

人間力を育
流でした。NVCの支援により、ラムドン省にあるダゲイ子どもセンターでは線香と数珠を、ロンアン省にあるキムチシェルターではミシンを使って衣服が作られるようになるなど、少しずつ現地の子どもたちの自立に近づいています。NVCの支援の特徴は、たまたまお金や物資を贈る援助ではない、というところです。現地の人としつかりコントクトを取り、事前調査を丹念に行います。その結果、他の支援団体による支援で

人間力を高めよう

キヤリア育成合宿



企業の担当者から話を聞く学生

企業人に職業観、人生観学ぶ

氏名	渡航先	期間	実習内容
石塚 優華	ニュージーランド (ワイカト大学)	8月11日～9月3日	英語研修& ホームステイ・異文化体験
緒方 りな	韓国(慶熙大学校)	9月2日～9月23日	韓国語研修 異文化体験
金 淑姫	アメリカ(CISL)	8月5日～9月12日	英語研修 異文化体験
齋藤 優里愛	ロシア(サンクトペテルブルク大学)	8月5日～9月4日	ロシア語研修& ホームステイ・異文化体験
櫻澤 紗香	ニュージーランド (ワイカト大学)	8月11日～9月18日	英語研修& ホームステイ・異文化体験
中野 伊吹	ベトナム(ホーチミン)	8月25日～31日	国際交流、国際協力 現地児童院・大学生との交流
牧野 笑花	台湾(铭伝大学)	8月13日～30日	中国語研修 異文化体験

の向上に協力したり、とい
うことができます。
また、子どもたちとの交
流も忘れない思い出で
す。私は言葉の通じない彼
らにも楽しんでもらえるよ
うに、日本の福笑いを行い
ました。子どもたちの元気
さに逆にこちらがパワーを
もらえて良かったです。

ツアーパーを通じてベトナム
の文化や人々に触れ、少し成
長することができます。
この経験を生かし、国際協
力についての学びを深めN
VCの活動や自分の将来に
生かしたいと思います。来
年も絶対参加したいと思え
る最高のツアーパーでした。

（国際文化学科）
3年 中野伊吹

3年生を対象にした「企業見学セミナー」を8月29日に行いました。早い時期から「就活」準備をすれば心構えが変わり、多くの会社や人事担当者との接点も

企業見学セミナー

新潟、長岡6社訪問 就職活動の第一歩に



(株)アークベルで説明を受ける学生

増えます。夏期休暇を活用したインターンシップ、本学独自の企画「企業見学セ

「ミナー」では、県内の様々な企業や職種から多くの情報が得られます。今回は新潟地域と長岡地域の6社を訪問しました。それぞれ製品ができる過程や食味試験、新車の試乗など、訪問先の業務内容を様々な視点から体験して、職場環境も知ることができます。また、仕事の心構え、活動の仕方や採用情報なども学べました。より早い企業研究が就職活動への第一歩、アドバンテージになりました。(キヤリア支援課長)

西脇茂雄



企業の担当者から話を聞く学生

企業人に職業観、人生観学ぶ

情報を会場に開かれ、新潟青陵大学、同短期大学部と初参加の新潟医科大学を含め32人が参加しました。

会人との交流があります。学生は人生観、仕事観、職業観など、社会に出るための大きな要素を学び、幅広い視点で学びました。また、各企業の提出課題に対し、グループごとに課題解決に取り組み、その後に企業の方々と情報交換の座談会を行い、多くの人生経験や社会人としての心構えなどを伺うことができ多くを学ぶことができました。

台湾の東吳大学で研修

—情報システム学科 准教授 小宮山 智志

「国際観光都市新潟」に向けて私たちが目指すモデルに台湾がふさわしいと考えます。

日本人の各国・地域への訪問者数ランキングは米国・中国・韓国・台湾・タイの順です(2015年)。中国・韓国への訪問数は急激に減少しているのに比べ台湾に関する数を伸ばしています。私は

国際観光都市新潟に向けて

教員海外研修便り

訪問者の順位は米国・中国・韓国・台湾・タイの順です(2015年)。中国・韓国への訪問数は急激に減少しているのに比べ台湾に関する数を伸ばしています。私は



台北市にある東吳大学

米国イリノイ大学で研究

—国際文化学科 教授 吉澤 文寿

た。春学期には日本近代史の授業と卒業論文ゼミを聴

昨年8月から1年間、米国イリノイ州にあるイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(UIC)の客員研究員として研究生生活を送りました。受け入れ機関は東アジア太平洋研究センター(Center for East Asian and Pacific Studies, CEAPS)で、中国や韓国から7人の客員研究員も所属していました。CEAPSでは

3回のリスニングとスピーキングのクラスに入りましたので、週

可能な科目が1つなので、週1ビザは受講



東イリノイ大学で記念講演に招かれました

語学や講義に多くのヒント

魅力を探るために台北市のゲストハウスに1年間滞在しました。リピーターの方々は台湾の方の人柄にひかれているようです。私もいつも台湾の方々に親切にしていただ

きました。魅力を探るために台北市のゲストハウスに1年間滞在しました。

ただいても、無視せざる得ないことがあります。安心

め、せっかく声をかけていります。言語や慣れの問題もありますが、異文化接触によつて、かえって海外の方を魅了する気持ちが強くなる

ケースも見受けられます。

この点を克服することが国

際観光都市化にとっても重要

と考え、ゲストハウス調査

に加え、台北の東吳大学の

張家名先生のことで、海外

の研究者との研究会や、授

業に参加させていただけ機

会をいただき、異文化接觸

と私たちの意識の変化につ

いて研究を進めました。こ

の貴重な経験を地域の皆さ

まと共有し、一緒に考え、

行動できたらと思います。

魅力を探るために台北市のゲストハウスに1年間滞在しました。

魅力を探るために台北市のゲストハウスに1年間滞在しました。会、シンポジウム、映画鑑賞会ほか、様々なイベントが催され、とにかく足を運びました。

学外では、東イリノイ大学でゲストスピーカーとして招聘され、4月のAsian Heritage Monthのイベントにも招かれました。10月にUICで開かれたMidwest Conference on Asian Affairsで研究報告を行い、次大会に参加し、夏期休暇はメリーランド、ニューヨーク、ボストンなどで史料収集及びフィールドワークを行いました。在外研究の機会を与えてくださった本学関係者や米国で助けてくれた全ての人々に、あらためて感謝申し上げます。

神長 英輔(国際文化学科准教授)

・(2017年4月24日) "The Colonial Responsibility in Japan - the ROK Relations and the United States, 1945 - 1965" Center for East Asian Pacific Studies (CEAPS) Visiting Asian Scholars Program (VASP) Brown Bag Talk Series (the University of Illinois at Urbana-Champaign)

・(2017年4月25日) "A Lifetime Thesis - My Experience (as a keynote address)" Asian Studies Conference & Award Ceremony (Eastern Illinois University)

3)委員・社会的活動・記事・その他

宇田 隆幸(情報システム学科・教授)

・(2015年4月1日より継続~2018年3月31日) 公益財団法人 図書館振興財団 大学図書館用選書委員会選書員

内田 亨(情報システム学科・教授)

・(2017年8月2日) 「フランスにおける働き方・フランスとの関わりから新潟への示唆」COC+国際交流WG第2回プロジェクト(新潟大学 五十嵐キャンパス人文社会科学系 3階 第一合同研究室)

・(2017年8月3日) 国際会議の討論者 (International Conference "Border History" by JSPS Topic-Setting Program to Advance Cutting-Edge Humanities and Social Sciences Research "Interdisciplinary Research on the Function of National Histories and Collective Memories for the Democracy in the Globalized Society") (北海道大学ラブ・ユーラシア研究センター)

小林 満男(情報システム学科・教授)、石川 洋(同・准教授)、中田 豊久(同・講師)

・(2017年7月8日) JABEE修了生・卒業生交流会(関東地区) (中央大学駿河台記念館・御茶ノ水)

山田 裕史(国際文化学科・講師)

・(2017年5月31日~6月5日) Asian Network for Free Elections (ANFREL) の国際選挙監視員として、カンボジアの行政区・地区評議会選挙の選挙監視活動に従事(カンボジア王国)

・(2017年5月5日~6日) 「新潟市・ウルサン市青年国際交流ワークショップ」の企画・運営(本学の国際交流インストラクター6人および同推進員2人とともに担当) (新潟市万代市民会館、クロスバルにいがた、万代シルバーホテル)

米山隆一県知事(左から2人目)に
教育・子育て、地域活性化など県
政の課題を質問した学生タウン
ミーティング

初の学生タウンミーティング

米山県知事と意見交換



「政治を身近に」

本学と新潟大学、新潟県立大学の
学生が米山隆一県知事と直接話し合
う「新潟学生タウンミーティング」
が8月4日、新潟市中央区のクロス
パルにいがたで開催されました。学
生の県政への関心を高めようと国際

しそのものだと実感したい」との思
いから、東京電力柏崎原発の再稼働、
教育と子育て、労働問題、地域活性
化などをテーマにして知事に質問し
たり議論をしたりしました。

最初に「米山知事は、朝食はパン
派かごはん派か?」とたずね、「朝
はコーヒーだけです」と答えられ、
堅苦しい雰囲気ではなく学生らしい
素直さと切れ味の良さで話ができま
した。世界最大の柏崎刈羽原発の現
状と安全性、代替エネルギーの可能
性などについて知事の考えを直接聞
くことができ、とてもよい学びの
機会になりました。参加者は約60人
で、新潟日報などメディア5社の取
材もありました。会場アンケートで
多くの方が「また参加したい」と答
えて、大きな達成感を得ることができ
ました。

知事と直接語り合うのは初の試み
で苦労もしましたが、企画の趣旨を
決める段階から県側との連絡、集客、
プレスリリース、当日の運営など大
学外で多くの貴重な経験ができまし
た。米山知事も「ぜひまたやりたい」
と次回の開催に意欲を示してください
り、今回の反省を生かして来年再び
タウンミーティングを開催しようと
決意しました。

新潟県警の今年度の大学生少年サ
ポーターに3人の、学生防犯ボラン
ティアに2人の学生が参加すること
となりました。

大学生少年サポーターは少年の非
行防止・立ち直り・健全育成を図る
ため、学習支援やスポーツ活動、料
理教室、清掃活動、農業体験などを
通じた支援活動などを行なうもので
いました。

県警少年サポーター 防犯ボランティア 学生5人が協力



新潟市の蒲原祭りで街頭補導
活動をする学生(新潟県警提供)

文化学科の佐
々木寛ゼミを
はじめ3大学
の学生が初め
て企・運営

をしました。
「政治をも
つと身近に、
私たちの暮ら
し、結果として残せたことをうれし
く思います。これからも様々な学び

にチャレンジしたいです。
(国際文化学科 3年 五井 晃

考
え
て
い
ま
す。
大
学
生
ボ
ラ
ン
テ
イ
ア
は、少
年
と
年
齢
が
近
い
た
め
信
頼
関
係
が
生
ま
れ
や
す
く、
少
年
の
立
ち
直
り
に
重
要
な
役
割
を
果
た
せ
ま
す。

学生防犯ボラ
ンティアは、積
極的な自主防犯
活動で安全・安心なまちづくりに貢
献しようという活動で、子供や高齢
者を対象に犯罪被害防止広報の企画
・実行、小学生らを対象にした防犯
寸劇の企画・実行、防犯パトロール
や子供見守り活動があります。

大学生少年サポーターとして活動
している情報システム学科3年の五
十嵐由衣さんは「ボランティアに参
加して、街頭補導や呼び掛けが犯罪
の防止につながっているのだと知り
ました。子供たちが安心・安全に過
ごせる地域になるよう、活動に参加
していく」と抱負を述べました。

学生防犯ボランティアに登録した
情報システム学科3年の石丸瑠平さ
んは「警察の仕事に興味があり、関
わりたいと思い参加することにしま
して。これから警察の方と一緒に防
犯広報活動を通して安全・安心なま
ちづくり活動をしたい」と抱負を述
べました。

今年のテーマは「**飛翔**」

紅翔祭

10/7土・8日

文化講演会

演題 「今、私たちは何をすべきか」

講師 養老 孟司 氏
東京大学名誉教授

開催日 10月8日(日)
12:30~14:00(開場:12:00)

会場 新潟国際情報大学
本校 体育館

定員 先着600人(無料)

申込方法 「養老孟司講演会申込」・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・聴講人数(上限5人)をご記入のうえ、Eメールにてお申込みください。

宛先 koenkai@nus.ac.jp

プロフィール

1937年 神奈川県鎌倉市生まれ
1962年 東京大学医学部卒業 1年のインターンを経て、解剖学教室に入る
以降解剖学を専攻
1967年 医学博士号取得
1981年 東京大学医学部教授就任(～1995年)
東京大学総合資料館長、東京大学出版会理事長を兼任
1996年 北里大学教授に就任(～2003年)
1998年 東京大学名誉教授
1989年『からだの見方』(筑摩書房)でサントリー学芸賞を受賞
2003年『バカの壁』(新潮社)で毎日出版文化賞を受賞
2006年 京都国際マンガミュージアム館長就任

【主な著書】

「身体の文学史」「バカの壁」「死の壁」「超バカの壁」(新潮社)、「ヒトの見方」「からだの見方」「解剖学教室へようこそ」(筑摩書房)、「養老孟司の“逆さメガネ”」「本質を見抜く力」(PHP研究所)、「耳で考える」(角川書店)、「唯脳論」(青土社)、「涼しい脳味噌、正統」(文芸春秋社)、「脳に映る現代」(毎日新聞社)、「毒にも薬にもなる話」(中央公論社)、「ミステリー中毒」(双葉社)、「脳と自然と日本」(白日社)、「虫眼とアニ眼」(徳間書店) ほか

★この講演会は、父母会およびみづき会(同窓会)の共催事業です。
★個人情報については、入場整理券郵送の目的以外に利用はいたしません。

7日(土)
8日(日)

進学相談会

模擬店スペースの一角において、「個別進学相談会」を開催します。
学生生活や入試など、
どんなことでも気軽にご相談ください!

来場者には素敵なプレゼントを差し上げます。

紅翔祭に向けて

紅翔祭実行委員長 情報システム学科2年 曽川 倫太郎

10月になり、いよいよ紅翔祭開催の日が近づいてきました。今年もサークル団体などによる模擬店やイベントの実施を予定しています。それに加え今年は昨年とはまた違ったイベントを多く予定しています。我々、実行委員と学生で紅翔祭を盛り上げていきたいと思っていますので、10月7日(土)、8日(日)は是非、新潟国際情報大学紅翔祭にお越しください。

主なイベント

7日(土)

- 合唱発表(合唱部)
- 石川研究室展示(石川研究室)
- Dancer's Party vol.16(ダンス部)
- TFTって何?(TFT-NUIS)
- K.A.T.A.N.U.K.I(stract)
- 紅翔祭公演(演劇部)
- New Zealand(NZ)
- 特産品の販売(コメ、饅頭、団子)
(弥彦村)
- 新車展示会
(HONDA車展示)

8日(日)

- アカペラライブ2017
(アカペラサークルjoin)
- 裏千家茶道部茶会
(裏千家茶道部)
- ロシト――ク!!!!
(ロシアかじった人たち)
- ツボ押し、簡単な健康チェック
(新潟看護医療専門学校)
- 抽選会(実行委員イベント)

7日(土)・8日(日)

- ECOPIYO'S Candle(環境研究部NUIS Eco)
- 被災地ボランティア写真展2017(災害ボランティア団体nus-project)
- 紅翔祭茶会(表千家茶道部)
- JABEE説明ブース(情報システム学科JABEE委員会)
- 進学相談会(入試・広報課)
- 作って遊ぼう!光通信!(近藤研究室)
- 河原研究室展示(河原研究室)
- ROCK IN NUIS vol.16(軽音楽部)
- 高木研究室(高木研究室)
- MMCの名刺屋さん(MMC)
- ゲームセンターMMC(MMC)
- 射的(総合芸術同好会)
- 写真展示(写真部)
- 3人抜きで商品ゲット(NUISゲームサークル)
- みづき野西自治会 秋の文化祭(みづき野西自治会)
- アメリカ留学紹介コーナー(アメリカ留学組)
- 中国留学紹介(中学留学グループ)
- 韓国留学チーム(韓国留学チーム)
- スタンプラリー(実行委員イベント)
- ハンドトリートメント体験(株式会社 ノエビア)

本学のマスコットキャラクター
「Nabbit」です。

紅翔祭で
見かけたら、ぜひ声を
掛けてください!

ナビット



7日(土)

ゲストイベント 声優 アーティスト 大橋 彩香

- ◆時 間／10:30~11:30
(開場10:00)
◆前売りチケット(当日 1,500円)
一般：1,000円
新潟国際情報大学学生：800円
(入場する際に学生証の提示をお願いします)

※前売りチケットはイープラスの販売となります。
詳しくは新潟国際情報大学 学友会Twitter(@nusgakuyukai)をご覧ください。

新潟青陵大、新潟薬科大と連携

初のSKYスクールを開講

プログラム、光通信、世界の民族の魅力…

小学生70人、好奇心を刺激

本学の新潟中央キャンパスで8月23日と9月18日の2日、新潟青陵大学、新潟国際情報大学、新潟薬科大学が、新

SKYは、専門分野が異なる3大学、青陵のS、国際情報のK、薬科のYの組み合わせで、一緒に協力して小学生の知識・教養を高めようと初めて企



迷路を脱出するプログラムでBSNラジオの取材を受ける小学生

16講座を開講。夏休みの自由研究にと、低学年から高学年の小学生70人を含む110人が参加しました。

本学は「Scratch」プログラミング教室、「iPadプログラミング教室」「迷路を脱出するプログラムを作成しよう」「LEDを用いて光通信装置をつくろう」「国際理解ワークショップ想像を超えた世界～民族の魅力を探る」の5教室を開講しました。

一生懸命に迷路を解いていました。中には1時間もかけて全問をクリアする優れた小学生もいましたが、大學生でも1時間で全問解くのは難しいと講師は話していました。新潟青陵大

学、新潟薬科大学、新潟青陵大学短期大学部、新潟工業短期大学は「誕生学（いのちの力つてすごいよ！）」「体であそぼう！表現リズム遊び」「薬をいつ飲めば効果的、いつ飲めば副作用を減らせる？」「発酵食品がからだに良い理由」「つくつてたのしい模型工作（モックカー）」など各専門分野の講座を開講しました。

入試・広報委員長 安藤 潤
編集後記に代えて

湧源

新学部に関心か、850人超が参加

オープニングキャンパス盛況

平成29年度のオープニングキャンパスが7月17日、30日と9月3日に本校で開かれました。経営情報学部の新設で関心が高いのか、参加者は3回までで前年より200人以上増加し、過去5年で最高の来場者数でした。

（無料）を十日町、高岡、長岡、村上、加茂、五泉、新津、六日町、小出から運行して多くの参加者に好評でした。訪れた高校生と保護者の方々

「ビジネスゲーム体験」などの講義や実習のほか、「実験体感コーナー」ではゲームで学ぶプログラミング、LED光送信機で光通信を行う参加型プログラ



訪れた高校生らにダンス部がパフォーマンスを披露

には、本学の学生たちが終始サポートして模擬講義やキャンパス内ツアーや、「語学体験（英語・ロシア語・中国語・韓国語）」や「コンビニと情報システム」

本学英語講師による英検対策講

座も開き、盛況でした。

海外留学相談コーナー

では、アメリカ・ロシア

ムが人気でした。7月30日には

オーマンスを、表千家茶道部が

お点前を披露しました。

（新潟中央キャンパス 片桐 徹）

は、軽音楽部とダンス部がパフ

くなるはずがない。観光客には楽しいスポーツ

大阪は34℃。搭乗した飛行機の中で聞いた新潟

の午前の気温は20℃。曇っていたことを考えて

あまりの温度差に驚くばかり。まるで春休み

に旅行先の東南アジアから日本に戻ってきたよ

うな感じだ。

そんな酷暑の大坂で日中外に出歩く時間が長くなるのはずがない。観光客には楽しいスポーツも幼少時から見慣れた光景だけに特に見歩く気にもなれず、最短40分で到着できる甲子園球場で新潟県代表を応援しようかとも思ったが、あの暑さの中でアルプススタンドの入れ替えが始まると、まるで球場の外で待つのはごめんと早々にテレビ観戦に変更。こんな生活を続けていたせいか、体に変調が。どうやら生まれて初めて認識する夏バテだったようだ。

ちなみに生まれ育った大阪では幼少時よりマクドナルドを「マクド」と呼んでいた。「マック」と呼ぶか「マクド」と呼ぶか。今年の夏、その決着がついた。結果は私の個人的な予想を裏切って「マクド」派が勝ったそうだ。さて、ユニバーサル・ジャパンを略してなんと呼ぶか。覚えている限りでは「U.S.」以外使ったことがない。少なくとも周りの友人や学生たちもそう呼んでいる。しかしこの夏、大阪で朝の情報番組を見て驚いた。なんと関西では「ユニバ」と呼ぶのが当たり前らしい。自分のアイデンティティは今も関西人だが、もはや私は関西人ではない。いろいろな面での頃とは違うのも当然かもしれない。体にガタが来るのも無理からぬこと。ともかくにも後期の授業と入試を無事終えるためにも腰の痛みが消えることを願うばかりである。